

八幡平市教育委員会会議録

令和2年6月29日（月）

八幡平市教育委員会

令和2年6月八幡平市教育委員会定例会会議録

1. 開催日時

令和2年6月29日（月）午後2時45分から午後3時47分

2. 場所

八幡平市役所本庁舎3階 大会議室

3. 出席者

教 育 長	星	俊 也
委 員	羽 沢	憲 英
委 員	宮 野	朋 士
委 員	高 橋	優 子
委 員	伊 藤	政 行

4. 欠席者

なし

5. 説明等のため出席した職員

教育総務課長兼学校給食センター所長兼図書館長	工 藤 久 志
教育指導課長兼教育研究所長	照 井 英 輝
教育総務課長補佐兼総務係長兼学校給食センター副所長	佐々木 由理香

6. 傍聴者

なし

7. 教育長あいさつ要旨

6月定例会後の主な行事等について報告

- 1) 5月28日（木）第23回少年少女の詩「江間章子賞」選考委員表敬訪問
- 2) 6月2日（火）・八幡平市議会全員協議会
・第2回教育支援委員会
- 3) 6月10日（水）第3回小・中学校校長会議 学校訪問への対応の感謝とコロナ対策を継続する。特に熱中症が心配されることから、熱中症対策を十分にすること。GIGAスクール構想ということで、コロナ関係の補正予算を活用して、様々なICT環境を整えること、1人1台のタブレットを整えること等の説明をした。

- 4) 6月12日(金)～7月1日(水) 令和2年度教科書展示会 中学校用教科書採択の年になっているので、各学校から展示会場である市役所3階図書室で、先生方が研究をしている。
- 5) 6月15日(月)～6月24日(水) 八幡平市議会第2回定例会
- 6) 6月23日(火) 第8回八幡平市新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 7) 6月25日(木) 教育研究所第1回防災教育重点部会 重点部会に防災教育を位置付けしており、今年度は防災教育のカリキュラムを設定すること。来年は防災本の副読本を作成するという報告で動き始めたところである。昨年度のいじめの状況について報告、そして今年度のいじめ対応について、対策を了解いただいた。今年度も、インターネットに関係する調査等を進めていきたいと考えており、小学校低学年まで下ろして行う必要があるということで、SNS関係、ゲームなど小学校低学年からいろいろな問題が起きていることを踏まえての方針改革である。
- 8) 6月27日(土) ハローインターナショナルスクール安比ジャパン校舎新築工事起工式 衆議院議員の鈴木俊一議員や達増知事が見えられ、ソーシャルディスタンスを保ちながら、賑々しく行われた。大変広大な土地に、新しい学園都市が今着工されたところである。

7月の主な行事について報告

- 1) 6月30日(火) 八幡平市キャリア教育推進協議会
- 2) 7月3日(金)・八幡平市青少年問題協議会
・八幡平市社会を明るくする運動推進委員会
- 3) 7月8日(水) 第4回小・中学校校長会議
- 4) 7月10日(金)・令和2年度八幡平外来植物駆除キャンペーン
・八幡平市の教育を語る会
- 5) 7月16日(火) 令和2年度第2回管内教育長会議
- 6) 7月13日(月)～14日 校長面談
- 7) 7月15日(水) 令和2年度第2回管内市町教育長会議
- 8) 7月18日(土) 八幡平市市立病院落成式
- 9) 7月18日(土)～19日 岩手地区中総体
- 10) 7月22日(水) 教育委員会7月定例会
- 11) 7月29日(水)～30日・教育研究所夏季研修講座
・第1回いじめ問題専門委員会
- 12) 7月29日(水) 令和2年度岩手地区校長歓迎会
- 13) 7月30日(金) イングリッシュ・キャンプ

8. 報告事項の要旨

(教育総務課)

- ・6月15日に召集され24日までの会期で開催された、市議会第2回定例会の主な内容について、補正予算の内容については、本日の報告案件の中で詳

細な説明をする。GIGA スクール構想の前倒しに伴い、市内 14 校の校内ネットワーク整備、一人一台タブレット型パソコンの配備、これに要する経費を補正予算で議決いただいた。今後は、調達に向けて機器の使用あるいは学習ソフト、学校現場における活用に向けた、教員の研修に取り組んでいこうとするものである。学校安全総合支援、復興教育の指定校に要する経費、国の教育課程研究指定校の経費、中学校の部活の指導員の配置に要する経費、今年度は 3 中学校に 3 名を予定している。そういった経費について、追加補正したものである。

・一般質問は、今回 3 名の議員から教育関係の通告質問を受けている。1 人目は八幡平市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する質問で、子供たちの郷土愛の育成という部分についての事項について、説明をしたところである。内容については全国学調あるいは県学調、そういったところで、自分の住む地域の良いところがある、あるいは自分の住んでいる地域の行事に参加している、そういった比率の高い状況にある。そういったところから町への誇りと愛着、意識、参加意識が高い数値が示されている。特に、教振運動の特色ある取り組み、あるいは岩手型コミュニティ・スクールの取り組み、そういったところから、一層児童生徒の郷土愛が育まれているし、今後も全校学校運営協議会の設置により、更なる郷土愛の育成に取り組んでいくという旨の答弁をしている。2 人目はハローインターナショナルスクールに関するものだった。社会科副読本の英語教材化の活用という質問事項の中で、ハローインターナショナルスクールにも英語教材の採用を提案してはとどうかという旨の質問を受けている。社会科副読本は 3・4 年生を対象にして作成したもので、一方ハローインターナショナルスクールでは、小学校 6 年生から高校 3 年生まで対象としている。対象年齢の相違や、英国の教育課程等、そういった基準に合わせた内容の変更、編集というのが必要とされると思われる。今後、日本語や日本文化、日本の歴史に関わる教育に、社会科副読本は有効な面があると捉えているので、そういった部分を踏まえながら対応していければと答弁している。英語についても、今後は児童生徒の英語力を高める事は前提にあるが、市を紹介するパンフや発表資料の英語版の作成、ハローインターナショナルスクールの生徒との相互理解、交流活動を行っていくことも魅力的な取り組みなので、具体的にハローインターナショナルスクール側から教育プログラム、そういったものが示された際には、共に高め合うような教育活動について検討し、その中で社会科副読本の英語教材化、そういった方策については検討していきたい旨を答弁した。三人目は、緊急事態宣言解除後の対応と対策、特に休校中の児童生徒の学習、心身の状況把握をしているか。学校で実践している感染症防止策の適切な行動実践、2 学期に延期される運動会の防止策への質問があった。13 校教育委員会で訪問した際の聞き取りでは、マスクの着用率 97% と非常に高い割合で着用している状況。先生方は机の間隔、3 密を防ぐ指導をされていた。生徒においては、主体的に生徒会でキャッチフレーズを掲げて、感染症予防対策を積極的に行っ

ているというのを紹介しながら答弁した。運動会については、3密を避けるというのが大事なので、家族との昼食時間は設けない形にして、午前中で運動会が実施できるように日程種目を検討し、保護者の見学場所の改善を施し、ソーシャルディスタンスを保てるように会場・設営等を検討している状況である。追加質問で地熱発電所の教材としての活かし方について質問があったが、松川地熱発電所は防災学習の一環として、松尾鉱山と地熱発電所との関係について学習しているし、中学校でも社会科や理科の授業において、地熱発電の仕組みや地場産業への活用例、自然環境保全と科学技術の利用のありかた、総合的な学習に活用しているところである。市職員による出前講座を行っているし、今年も、今後の行事予定でもあった、教員に対しての研究所のふるさと理解講座で、地熱発電所の見学を行うこととしているので、教員に対しても地熱発電所の歴史、価値を学んでいるという状況を説明したところである。

(教育指導課)

・学校訪問について、5月20日から6月29日本日までの期間で、教育長及び教育委員会の職員にて各小中学校を訪問し、新型コロナウイルス感染症対策の取り組みについての現地確認と、管理職から日常の対策について聞き取りを行ってきた。市内児童生徒の状況については、5月の臨時休業の影響による不登校や登校渋り、保護者の意向等による登校自粛を行っている児童生徒はいません。小中学校ともに落ち着いた雰囲気の中で学習し、意欲的に学ぶ児童生徒の姿と、持ち味を十分に発揮しながら指導されている先生方の姿を拝見した。また、運動会等の行事を2学期に延期したことにより、教科の授業時数が増え、どの学校も学習内容をできるだけ前倒しをして行うよう進めており、今後予想される新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休業に備えているところである。各学校では、児童生徒の机の間隔を1メートル以上離して学習し、毎時間の換気を行っている。マスク着用についても、ほとんどの児童生徒が着用し学習活動を行っていた。消毒作業については行間休み、放課後に全職員で分担しドアノブ、スイッチ、遊具等の消毒作業を行っている。日々の先生方の取り組みに頭が下がる思いであった。訪問では、その他に副校長から今年度のコンプライアンスに係る取り組みについて聞き取りを行い、校長からは学力向上の取り組みや支援を必要としている子供の状況について、報告をいただいた。

・6月2日市教育支援委員会について、14名の委員の皆さんに参加いただき昨年度の教育支援事務の経過報告並びに支援を必要としている子供さんの現在の支援の状況や通級状況、進学状況等を確認した。また、今年度の八幡平市の就学の流れと、各学校における校内教育支援委員会の進め方について説明をした。今後、8月下旬に調査委員会議を開き9月10月に個別検査を実施し、11月の第2回市教育支援委員会に向けて取り組んでいきたいと思う。

・6月25日第1回防災教育重点部会について、今年度教育研究所では調査

研究事業の重点研究として、火山噴火の防災教育に取り組むこととした。防災士の資格をお持ちの田頭小学校中軽米校長先生に部長をお願いし、ほか5名の先生方を部員として取り組んでいく。岩手山・八幡平・十和田それぞれの火山に囲まれたこの八幡平市において、火山噴火やその災害に対して主体的に行動できる力を、児童生徒に育むことを目標に、この部会では3つの事に取り組んでいく。1つは八幡平市共通の火山噴火対応マニュアルの作成である。2つ目は防災教育のカリキュラムの作成。3つ目は防災教育副読本ハンドブックの作成である。第1回の部会では活発な協議が行われ、各学校が取り組んでいる復興教育を土台にしながらアイデアを結集し、八幡平市だからこそできる防災教育。子供たちが将来どこに住んでいても対応できるような力を身に付けさせたい。そして防災教育を通して、この八幡平市の良さを大いに感じ、愛着を持てるようにしたいなど、先生方から大変前向きな意見をいただいた。市の防災安全課の方も委員として参加していただき、学校だけでなく家庭や地域を巻き込んだ取り組みになるよう進めていきたいと思う。

・6月26日いじめ問題専門委員会について、事務局より八幡平市いじめ防止基本方針、今年度の教育委員会としての取り組みを説明し、その後委員のみなさまから意見をいただいた。話題となったのは、家庭保護者の教育力に対する方策や、SNS等によるいじめ事案での相談窓口について、コミュニティ・スクールをいかした地域、家庭の連携の在り方について出された。毎日のようにいじめにかかる自死事案や、それにかかる調査委員会の設置、報告についてマスコミでは報道され、本当に悲しい事案が続いている。特に今年は、コロナによる学校の休業措置や、自宅での長い時間の生活、学校行事等の延期や変更。または、保護者の方の経済的な変化等により、岩手の子供たちも不安や心配を多く抱えているはずである。いじめの事象も増えることが予想される。本市のいじめの認知件数が、小学校では前年の約3分の1、中学校では約半数になったとのことだが、決して油断せずにむしろ今まで以上に気を引き締めて、各学校におけるいじめの未然防止、早期発見、早期対応を継続的、組織的な対応を徹底していきたいと考えている。まもなく7月になるが、各学校において1学期のまとめの時期であり締めくくりをしっかり行い、満足感や達成感とともに夏休みを迎えてほしいと考えている。

9. 報告事項についての質疑
なし

10. 議事

- 報告第1号 「議会の議決を経るべき議案について」
議案第1号 「八幡平市要保護及び準要保護就学援助費支給要綱の一部を改正する告示」
議案第2号 「八幡平市図書館協議会委員の任命に関し議決を求めることにつ

いて」

11. 議事の概要

○星教育長

報告第1号「議会の議決を経るべき議案について」を事務局から説明お願いいたします。

○工藤教育総務課課長

(資料に基づき説明)

○星教育長

はい、ありがとうございました。

報告第1号について説明がありました。ただいまの説明に関しまして、質問等ありましたらご発言お願いいたします。

修学旅行について話が出ていましたが、旅行先について教育指導課長から情報提供をお願いします。

○照井教育指導課長

修学旅行につきましては、5月中旬から各学校の校長先生と意見交流をしてまいりました。本来であれば「東京に行きたい」、これは先生方、子供さんたちも強い思いを持っていたのですが、このように東京もさらに感染者が増えている状況もありまして、教育委員会としましては、中学校については東北6県という旅行先に限定をして、その中で企画をしていただくということを明日、明後日くらいのところで通知を差し上げたいと思っております。これは、突然出したものではなく、何回も中学校の校長先生と、電話や直接意見交流しながら限定してきたものです。本来は東京でも関東方面で栃木、茨城あたりは落ち着いてきた時期もありましたので、そこには日光や工場見学など学習価値の高いものがありましたので、そこは何とかがんばってほしいなど残していたのですが、残念ながら今週どんとんと栃木も茨城も出てしまいましたので、そこは削らざる負えないという状況でありました。小学校につきましては、岩手県及び隣接する県ということで、1泊2日で、より感染者の少ない県で、これも小学校の校長先生に意見をいただきながら絞ってきました。

○星教育長

はい、ありがとうございました。

質問等ありましたらご発言お願いいたします。

(委員から「なし」の声あり)

それでは質疑を終結いたします。お諮りいたします。報告第1号 議会の議決を経るべき議案について、原案の通り承認することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○星教育長

異議なしと認め、報告第1号は原案の通り承認されました。

次に議案第1号「八幡平市要保護及び準要保護就学援助費支給要綱の一部を改正する告示」について説明をお願いします。

○工藤教育総務課課長

(資料に基づき説明)

○星教育長

はい、ありがとうございました。

議案第1号について説明がありました。ただいまの説明に関しまして、質問等ありましたらご発言お願いいたします。

(委員から「なし」の声あり)

それでは質疑を終結いたします。お諮りいたします。議案第1号「八幡平市要保護及び準要保護就学援助費支給要綱の一部を改正する告示」を、原案の通り決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○星教育長

異議なしと認め、原案第1号は原案の通り可決されました。

続きまして、議案第2号「八幡平市図書館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて」事務局から説明をお願いします。

○工藤教育総務課課長

(資料に基づき説明)

○星教育長

はい、ありがとうございました。

ただいま議案第2号について説明がありました。質問等がありましたら発言をお願いします。

(委員から「なし」の声あり)

それでは質疑を終結いたします。お諮りいたします。議案第2号「八幡平市図書館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて」原案の通り決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○星教育長

異議なしと認め、議案第2号は原案の通り可決されました。

12. その他

○星教育長

それでは5その他に入ります。事務局から何かありますか。

○工藤教育総務課長

ありません。

○星教育長

はい。委員の皆さん方から何かありましたらお願いします。

○宮野委員

先週金曜日に、平舘山崎地内でクマを発見したという話がありまして、その方がお昼頃発見したけども、どこにも知らせていないと。そのクマが西根一中の裏山に向かって行ったのを目撃したという話を、人づてに聞いたのですが、その話を聞いた時に、市民が野生動物等を発見した場合に、どこにどのような形で通報したらいいのか理解されていないというのが、一つあるのではないかとということがありましたので、もちろん目撃情報に関しての、防災無線での告知というのは必要だと思いますが、その目撃情報を集めるための手段、通報先の周知の方法等を市民に知らせる必要があるのではないかと考えました。雫石の方では、イノシシが出たということですし、ちょっと古い話ですが、北森駅のすぐそばでは以前にサルが子どもにいたずらをしたという事例がありました。噂だけで対応するというのは非常に難しいと思いますので、市役所であれば何課に連絡をするのか、そういうものを行政無線を使って告知なり、回覧板等で告知をしていただければ大変ありがたいなど。今年はクマの出没が頻繁にあるのではないかとこの予想があるようですので、その辺は早急に対応してもらいたいと思います。

○星教育長

工藤課長、これについて何かわかっていることがありましたらお願いします。

○工藤教育総務課長

単純に野生動物だと農林課の方になります。分かっている人じゃないとクマ、シカ、イノシシ、サルなどが重要生物なのか害獣なのか仕分けができないと思います。農林課に話せば、周知が猟友会にあって、警察等も動くことになることもあるかと思います。

○星教育長

普通はクマを発見したら。

○工藤教育総務課長

クマ系は農林課になります。有害鳥獣の観点と危険性どちらをとるか。農林系で動くと思います。猟友会に繋がるので。

○星教育長

農林課以外の報告先だとどこになるか。

○工藤教育総務課長

防災安全課にあって警察ということもありますし。

○宮野委員

警察だと通報はしないですね。市民だと警察に連絡取りたくないですね。

○星教育長

ぜひご提案頂いたことを、次の定例庁議の時に全課そろったところで話題にして、報告先とそれから市民への周知方法を確認しましょう。ありがとうございました。ほかにありますか。

(委員から「なし」の声あり)

はい。特にないようですので、これを持ちまして八幡平市教育委員会定例会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。